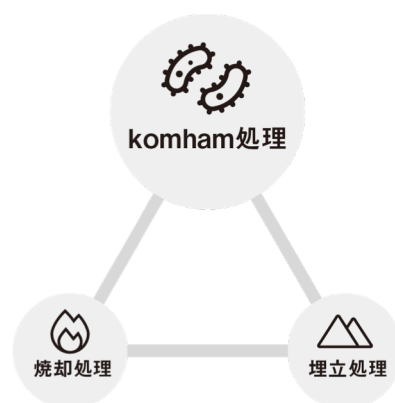


微生物を使った 高速分解処理で、 持続可能な 廃棄物処理インフラを構築



自社で開発した微生物群komham菌は、日々排出される生ゴミや家畜糞尿などの有機性廃棄物を1日で高速分解させる特性を持っています。komhamのバイオマス処理が、焼却処理、埋立処理に代わる持続可能な廃棄物処理インフラになることを目指しています。



1日で高速分解

komhamのバイオマス処理は、投下したゴミをわずか1日で98%まで分解できることが特徴です。日々排出される生ゴミを焼却処理同様の回転率で運用できるポテンシャルがあります。



環境にやさしい

komhamの処理設備に、電力は使用しません。処理過程で発生する温室効果ガス排出量は、堆肥化やバイオガス発電など他バイオマス処理と比較しても、最小限に抑えることが可能です。



堆肥化はオマケ

国内の堆肥(特殊肥料)市場は、在庫が飽和状態のため生成した堆肥の販路確保が難しい状況です。komhamのバイオマス処理では、必要な分だけを堆肥にし、普段は廃棄物処理場として機能させることができます。

